

人口減少が進む過疎の町であっても、町内外から人がつどい、ワクワクがたくさん起こるにぎやかな町をつくっていこう。美波町のまちづくりキャッチフレーズ「にぎやかそ」には、そんな思いが込められています。地元住民も移住者も“ごちゃませ”になって、みんなが笑顔で未来を語る町「にぎやかな過疎 美波町」の“にぎやかそ”なニュースを紹介していきます。

「美波防災ナビ」で目指す、「みんなでつくる地域の防災」 【Interview】美波町消防防災課 小笠雅信さん

美波町とサイファー・テック株式会社（本社：恵比須浜字田井）が開発した美波町の防災情報アプリ「美波防災ナビ」。住民からの通報機能により、町内における細かな災害情報等を町内外に住む人と共有できるようになりました。そこで、このアプリに込めた思いや町が目指す防災について消防防災課の小笠さんに聞きました。

Q1、「美波防災ナビ」をつくろうと思った理由は？

A1、「現状の個別端末機（IP 告知端末機）では停電時等に十分な効果を発揮できず、台風や大雨の時などは屋外の町内放送も聞こえにくい。現状のシステムだけで適切な災害情報等の発信ができないのではと思ったのがきっかけです。町外に通勤・通学している住民の方も多いため、防災・災害に関わるピンポイントの地域情報を、町内はもとより町外にも届けられる仕組みが必要だと考え、スマホのアプリを開発しようと思いました。」

Q2、「美波防災ナビ」では、住民（アプリ利用者）が写真や位置情報とともに、地域の災害情報を「通報」することができますが、その機能に込めた狙いは？

A2、「住民の方から災害情報を集めることができれば、初動対応や確認作業も早く二次災害を防ぐことが可能になる。また、どこにいても地域の細かな情報がわかれば、縁者や知人に避難行動を促すこともできる。助かる命を確実に助け、命を守る行動につながる町の防災を構築できればと思っています。」

Q3、美波町が目指す防災のあり方とは？

A3、「有事の時だからこそ助け合い、みんなで命を守りあう地域防災を目指したい。「美波防災ナビ」によって役場と地域住民が一体になることで、町民の皆さんが安心して暮らせる町を作りたいと思います。」



「美波防災ナビ」詳細は町 HP から

→<https://www.town.minami.lg.jp/docs/875707.html>（本誌の折込チラシも合わせてご覧ください！）

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館 1 階 / 由岐地区：由岐ふれあいホール（ぽっぽマリン 2 階）